

Contents *IoT インターホンシステムについて *エスタスのリノベーション *コラム



導入コスト高の救世主になれるのか!?

[IoT インターホンシステムについて]

防犯の観点から今では欠かせない設備となった「マンションのオートロック連動インターホン」。歴史のある設備なので、平成初期に導入した物件では、部品の供給停止により修繕ができず、設備自体の取換え等大がかりな改修が必要なケースがあります。弊社管理物件でも毎年数棟が改修を実施しています。

こうしたインターホン設備ですが、近年ではインターネット回線を活用した「IoTインターホンシステム」が市場に出てきています。

今号は、従来のインターホン設備の課題点、その課題を「IoTインターホンシステム」がどう解消するのか、これから将来的にかけての期待について見ていきます。

中村 一也

●従来のインターホン新設と改修について

従来のインターホン新設や改修工事には、次の2つの課題があります。

① 価格競争力が低い

「インターホン設備は、アイホンがパナ」と言われるほど、「アイホン株式会社」と「パナソニック株式会社」の2社のシェア率が高く、選択肢が圧倒的に少ない状態です。価格競争力が低く働かないため、商品価格が高止まりする傾向にあります。

② 導入コストが高額

オートロック設備を新設する場合1階のエントランスドアの準備、各室内への映像・音声の配線工事が必要となり、機器設備以外にコストが発生します。さらに、配管がない場合、配管新設費用も必要になる等、とにかく導入のためのコストが高額になってしまいますので、オートロック連動インターホン新設はハードルが

高い選択になっています。

オートロックは、防犯の観点から入居者ニーズも高く、入居率に好影響を与える設備でありながら新設する物件が増えない背景には、この2つの課題が影響しています。

今、この2つの課題を「IoTインターホンシステム」が普及することによって、解消できるのではと期待されています。

●「IoTインターホンシステム」とは

IOTとは、従来インターネットに接続されていなかったモノが、ネットワークを通じてサーバーやクラウドサービスに接続され、相互に情報交換をする仕組みのことをいいます。簡単に言えば、インターネットに接続したインターホンシステムのことです。